

## 第2節 インターネット関連団体の概略と活動

### ISOC (Internet Society)

#### 1.組織の概要

ISOC (Internet Society: インターネット・ソサエティ) は米国バージニア州に本部を置く非営利の団体である。いわば学会のような組織であるが、普通の学会に比べて標準化活動に重点を置いている。

ISOCの会員は個人会員(会員数約5000人、日本人は約200人)と法人会員(会員数約100組織、日本からは8組織)からなる。日本インターネット協会もISOCの法人会員として参加している。ISOCには理事会(18名)がある。現在の会長はウィスコンシン大学のラリー・ランドウィーバー教授である。

日本からは1992年にISOCが発足したときに相磯秀夫慶應大学教授が理事となった。その後、石田晴久東大教授(1993-96)、後藤滋樹NTT研究部長(1994-1997)が相次いで理事選挙で選ばれた。石田理事は副会長も務めている。また標準化に関する、いわば技術理事会に相当するIAB\* (Internet Architecture Board) には村井純慶應大学助教授(1993-1995)が選ばれている。

IAB

p. 56参照

#### 2.活動内容

ISOCは国際会議(INET)を毎年開催している。INET'92は神戸で開催された。その後の開催地はINET'93がサンフランシスコ、INET'94がプラハ(チェコ)、INET'95がホノルルであった。今後の予定はINET'96がモントリオール(カナダ)、1997年にはアジア太平洋地域、1998年にはヨーロッパでの開催を予定している。

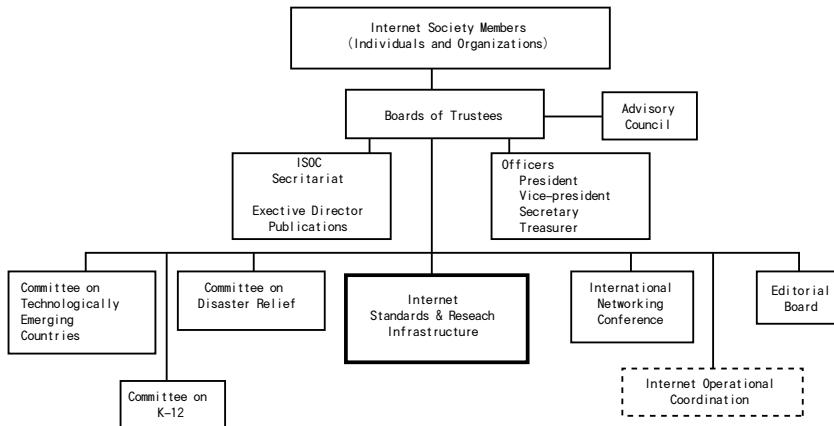
国際的な団体としてISOCが存在する意義は大きい。歴史的な経緯を見るとインターネットは米国における研究用のネットワークから発展したものである。したがって、国際的なインターネットの調整機関の多くは米国主導になっていた。これに対して、ISOCは発足時から国際的な組織であることを強調しており、事実、第1回のINET'92は神戸で開催されたのである。

ISOCに関する情報は<http://www.isoc.org/>に集められている。このページには組織の説明のほかに、インターネットの世界接続地図などの図表類、各国支部へのポインター、国際会議の案内や会議録(論文集)、標準化活動(IETF\*など)へのポインター、などの有用な情報が掲載されている。さらに入会申し込みのページもある。現在の個人会員の年会費は35米ドルである。ISOCには日本支部(ISOC-JP)があり、各種の催物を日本インターネット協会と共同で開催するなど、両者はいわば兄弟関係にある。

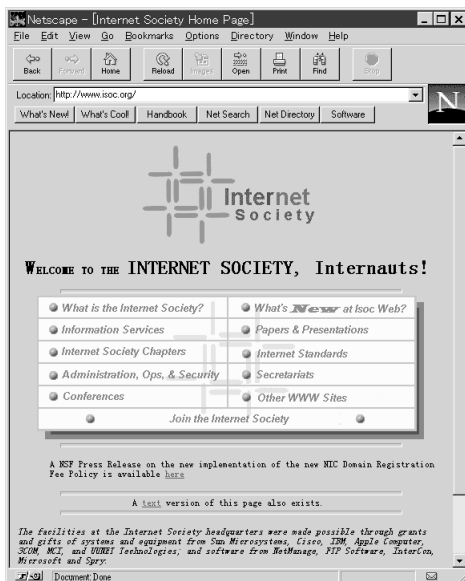
(後藤 滋樹)

IETF

p. 58参照



ISOCの組織



ISOCのホームページ



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)